ホコリがつきにくい

アンチダスト

汚れに強い

おすすめの使用場所

- 掃除がしにくい天井や吹き抜け・トイレなどの狭い空間
- 使用者の入れ替わりの多い客室

1 ホコリがつきにくく、お手入れらくらく

- 壁紙表面の特殊コーティングにより、一般ビニル壁紙に比べ表面にホコリ等のダスト汚れが付きにくくなっています。
- メンテナンスの頻度が一般ビニル壁紙に比べ少なくて済みます。

2 抗菌性に優れ、清潔さをキープ

- 壁紙の表面に付着した細菌の繁殖を抑制します。

■ 抗菌性能

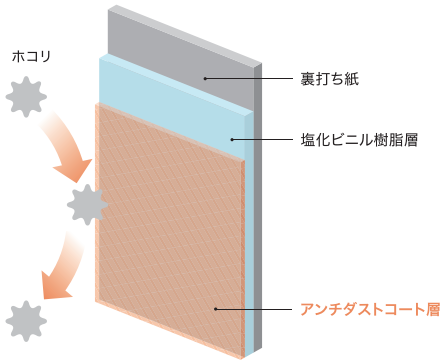
試験菌	試験開始時の生菌数（個／cm²）	試験後の生菌数（個／cm²）
大腸菌	21,000	0.63未満
黄色ブドウ球菌	14,000	0.63未満

【試験機関】(一財)カケンテストセンター
【試験方法】壁紙工業会制定「抗菌壁紙性能規定」に準拠

壁紙の表面に試験菌液を滴下し、温度35±1℃、湿度90%以上で24±1時間培養。
培養後の生菌数を測定し「0.63未満」の性能を有することが「抗菌」の規定です。

※試験の数値は、開始時には大腸菌21,000個、黄色ブドウ球菌14,000個あった菌数が、24時間後にはほぼ0に近い状態まで減少する性能があることを示しています。
※試験結果は評価試験データであり、保証するものではありません。
※抗菌性の壁紙は、これを使用することによって掃除の必要がなくなるというものではありません。
※抗菌性壁紙の抗菌効果は、壁紙に付着した細菌の増殖を抑制するものであり、感染を直接阻止するものではありません。

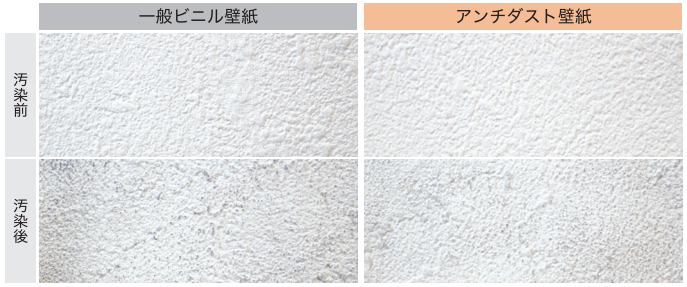
■ 壁紙の構造（イメージ図）



■ 汚染性能

それぞれのダスト汚れが付きにくい効果を確認できます。

汚染物質：ホコリ（床）　想定…ホコリ



汚染物質：疑似花粉（花粉増量剤）　想定※… 花粉（スギ、ヒノキなど）

※粒径の近い汚染物質を示す

汚染物質：関東ローム　想定※… 砂埃

※粒径の近い汚染物質を示す

【試験方法】
汚染物を容器に封入し、ファンを使用し付着。
※試験結果は、評価試験データであり、保証するものではありません。
※環境条件によっては効果・汚れ方に差があります。
※この試験は壁紙に汚染物を強制的に付着させているため、普段の生活環境での汚れ方と同様の汚れ方になるとは限りません。

■ 選択上のご注意

・アンチダストは、ホコリ等のダスト汚れが付きにくい機能であり、ホコリ等のダスト汚れが付かない機能ではありません。
・汚れが一度付着すると、拭取り除去性は一般壁紙と同等となります。壁紙工業会規格の「汚れ防止」に合格する性能には至りません。
・タバコ、キッチン等からの油煙は一度付いてしまうと表面に粘着性を与え、ホコリ等の他のダスト汚れを誘発、助長する傾向があります。

■ 使用上のご注意

・ホコリは、時々ハタキをかけたり電気掃除機などで吸い取ってください。ホコリ等のダスト汚れが付きにくくなっていますが、過度に汚れやホコリを放置しておきますと、湿気や油分を吸って取りにくくなります。
・飲食物や調味料などの水汚れは、直ちにかたく絞ったスポンジやタオルで汚れを吸い取るように拭き取ってください。中性洗剤を使用すると、アンチダスト機能が低下するおそれがありますので、水かぬるま湯をご使用ください。